

内航船舶輸送統計速報 (令和 6 年 11 月分)

1. 概況

総輸送量は、25,636 千トン（前年同月比 0.1%減）、13,023 百万トンキロ（前年同月比 0.2%減）であり、大型鋼船は 17,030 千トン（前年同月比 1.4%増）、9,616 百万トンキロ（前年同月比 0.0%増）、小型鋼船は 7,319 千トン（前年同月比 3.8%減）、3,173 百万トンキロ（前年同月比 0.5%減）であった。

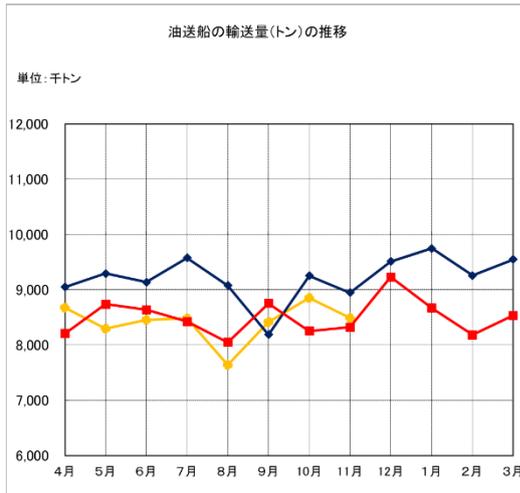
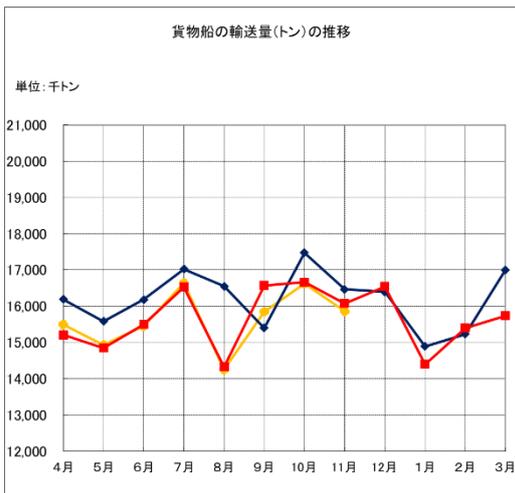
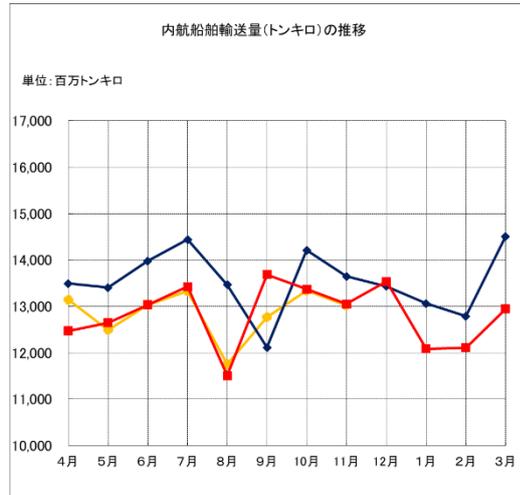
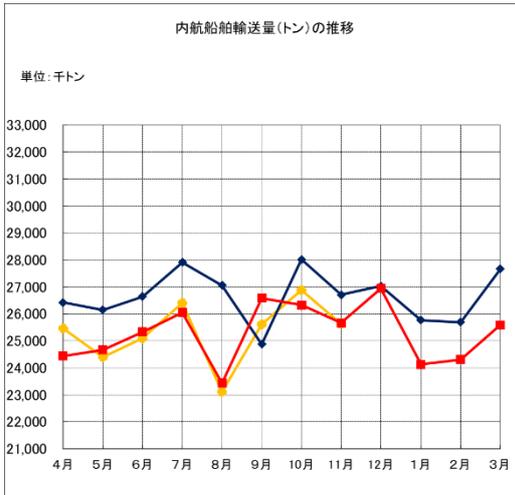
貨物船は 15,861 千トン（前年同月比 1.4%減）、8,410 百万トンキロ（前年同月比 0.5%減）であった。

油送船は 8,488 千トン（前年同月比 2.0%増）、4,380 百万トンキロ（前年同月比 0.6%増）であった。

プッシュャーバージ・台船は 1,286 千トン（前年同月比 1.9%増）、233 百万トンキロ（前年同月比 7.0%減）であった。

2. 用途別輸送実績

項目	トン数 (千トン)	前年同月比 (%)	トンキロ (千トンキロ)	前年同月比 (%)
合計	25,636	99.9	13,022,838	99.8
大型鋼船	17,030	101.4	9,616,440	100.0
小型鋼船	7,319	96.2	3,172,950	99.5
プッシュャーバージ・台船	1,286	101.9	233,449	93.0
貨物船	15,861	98.6	8,409,573	99.5
油送船	8,488	102.0	4,379,817	100.6
プッシュャーバージ・台船	1,286	101.9	233,449	93.0



凡例：◆ 令和4年度（2022年度） ■ 令和5年度（2023年度） ● 令和6年度（2024年度）

本速報値の総輸送量は、「内航船舶輸送統計調査（基幹統計調査）」の調査対象事業者のうち、一定の期日までに提出のあった事業者の実績を用いて、過去半年分の当該事業者分と全体の輸送量の比率を以て推計した値である。また、全体の輸送量の内訳である用途別については、過去半年分の内訳の比率を用いて按分したものである。

そのため、「内航船舶輸送統計月報」における推計方法とは異なるので留意されたい。なお、確報値は、「内航船舶輸送統計月報」として追って公表する。

お問い合わせ先

国土交通省総合政策局情報政策課交通経済統計調査室

TEL：03-5253-8111（内線 28-748）

担当：染谷、木綿